

# カンタベリー日本語補習校

## 校内読書感想文展

### 入賞者

校長賞	「犬と私の十の約束」	中学二年	小西 奏
優秀賞	「お医者さんになりたい」	小学四年	與田 さくら
優秀賞	「じゅげむ」を読んで	小学四年	宮本 玲
佳作	「たろのえりまき」	小学一年	反町 千那鶴
佳作	「おしゃれなおたまじゃくし」	小学一年	グラハム 舞子
佳作	「忍者サノスケじいさん」	小学二年	加島 慈喜
佳作	「マフィンおばさんのぱんや」を読んで	小学二年	リー ルーシー
佳作	「おいしゃさんなんかこわくない」	小学二年	鈴木 美愛
佳作	「宮沢賢治の伝記」を読んで	小学六年	松本 峻
佳作	「手紙」を読んで	中学一年	松田 周

## 校長賞

### 「犬と私の十の約束」

中学二年 小西 奏

「犬と私の十の約束」を読んで、私は読み終わった瞬間に自分の愛犬を抱きしめました。号泣している私を見て、愛犬は首をかしげながら私を見つめたのをはつきりと覚えています。

このお話は、犬と少女の絆がその少女の人生を大きく変えるという設定だったので、その少女を自分と思い込みながら読んでいきました。もともと本に執着心のなかった私が、一気に読み終わった唯一の本がこの本です。

本を読んでいた間に何回も何回も号泣しました。自分がもう長くないと分かり、自分の代わりに少女を見守ってくれる犬を少女に授けた母の限らない愛情。犬、ソックスが少女・あかりに幸福を齎した様々な奇跡。すべてに考えさせられ、感動しました。

今まで以上に、愛犬に愛情を注いであげよう、と心の底から思いました。この本を読んで、損なんてありません。またこんな素敵な物語に出会いたいです。

## 優秀賞

### お医者さんになりたい

小学四年 與田 さくら

「パパ、泣かないで」は、あっ子ちゃんという女の子が、三才の時に白血病というおそろしい病気にかかり、はげしい注しや点てきの中、がんばって日記や手紙を書く話です。あっ子ちゃんは九回も入院をし、五才の時に日記を書き始めます。入院しているうちに、左耳が聞こえなくなったり、かみの毛がぬけたり、体の他の部分も悪くなってしまいます。

私はこの本を読んで、  
（私はしょう来お医者さんになりたい。）

というゆめがますます強くなりました。それは、お医者さんになって、あっ子ちゃんみたいに重い病気の人の命を守りたいからです。そういう人の命を守ることが出来れば、その人の家族も笑顔になり、それを見て私もうれしくなり、心に喜びの花がさくと思ったからです。

日本で三才の時、私はいのうえ先生という小児科の先生にとでもお世話になりました。私は小さいころ、よくかぜをひいていたので、何度もないのうえ先生の所へ通っていました。小児科の小さなしん察室に入ると、必ず先生はにこにこ笑って、「さくら、また来たか！」  
と言い、じっくりと真けんに、しん察をしてくれました。また、注しやをして私が泣かなかったら、  
「さくら、よくがんばったな。」  
とほめてくれて、ごほうびにかわいいシールをくれました。だから私は、いのうえ先生みたいに、かん者さんの気持ちを考えてあげるやさしいお医者さんになりたいと思います。お医者さんになれなくても、人のために働ける大人になりたいです。  
この本を読んで感動したことは、あっ子ちゃんの心のやさしさと周りの人への気づかいです。三月十二日、あっ子ちゃんが息を引き取った日に、ようち園の先生であるあっ子ちゃんのお姉ちゃんがおみまいに来ました。その時、あっ子ちゃんが、  
「お姉ちゃん、おそくなるよ、よう

ち園へ行ってらっしゃい。」

と言った時、私はあつ子ちゃんの人へのやさしさを強く感じました。それは、あつ子ちゃんが自分は病気で話すのも大変なじょうたいなのに、お姉ちゃんのことを思っているからです。私は熱が出た時に、そんなに妹のことを思うことが出来ないの  
で、あつ子ちゃんが信じられないほどすごいと思います。

私のお母さんは家族のために毎日おいしいごはんを作ってくれたり、あらい物やせんたくをしてくれたりします。また、お父さんは私のテニスが上手になるように、日曜日に練習へ行ってくれます。この時、私はお父さんやお母さんのやさしさを感じ、感しゃの気持ちでいっぱいになります。だから今は、一生けん命勉強をして、大きくなったら、やさしいお医者さんになりたいと思います。

## 優秀賞

### 「じゅげむ」を読んで

小学四年 宮本 玲

私が一番好きな場面は、お寺のおしょうさんがくまさんと一しよに赤んぼうの名前をきめている時です。

くまさんが赤んぼうのために元気で強くて長生きできるような名前をつけたいとおしょうさんにお願いしたので、おしょうさんはいろいろなアイディアをだしました。ふたりはどの名前がいいか相談しましたが、きめられませんでした。だから全部つなげました。ふつう名前はそんなに長くないのでおもしろいなと思いました。おしょうさんが赤んぼうにつけてあげた名前は、「じゅげむじゅげむ、五こうのすりきれ、海じやり水魚の水行末、雲来末、風来末、くうねるところに住むところ、

ヤブラコウジのブラコウジ、パイポパイポ、パイポのシューリンガン、シューリンガンのグリーンダイ、グリーンダイのポンポコナー、ポンポコナーのポンポッピー、長久命の長助」です。この名前は言うのも大変だし、テストのプリントに名前を書いている間に時間がなくなっちゃいそうです。それからポンポッピーとかいう名前もあんまり強くなさそうです。

私の名前は「じゅげむ」とちがって短くて良かったと思います。私の「玲」と言う漢字は、二つのきれいな石がぶつかる時の、美しい音の意味です。名前には、その美しい音みに、きれいな心を持った人に育てほしいという私の両親の願いがこめられているそうです。私は自分の名前が好きです。この名前に合う人になりたいです。

## 佳作

「たろのえりまき」

小学一年 そりまち ちなつ

たろ、なーちゃんとうこうしきさんが、おなじあかのえりまきをしているところがすきです。

わたしもおともだちとおなじえりまきだったら、たのしいなーとおもいます。それが、あおいみずたまだったら、もっとうれしいです。

## 佳作

「おしゃれなおたまじゃくし」

小学一年 ぐらはむ まいこ

わたしも、ようふくをほしいな。

ようふくすきです。あおいいろのようふくがすきです。ぴんくのいろのようふくもすきです。

うさぎさんには、あおいふくもぴんくも、くろもきいろもみどりもつくってもらいたいです。

## 佳作

「忍者サノスケじいさん」

小学二年 かしま いつき

このお話は、忍者のサノスケじいさんが、じぶんのまごに会いに行くお話です。

ぼくは、このお話を読んでとてもおもしろいお話だと思いました。

たとえば、サノスケじいさんが、車にはねられそうになったとき、にんぽうでスポーツカーをぶたにかえてしまったり、デパートで火事があったとき、たごにのってかんらん車にのっている女の子をたすけたりしたところがカッコいいと思いました。

にんぽうをつかっではいけないと、子どもに言われていたけど、サノスケじいさんのにんぽうは、みんなにたくさんよろこんでもらえました。ぼくも、にんぽうをつかってみたいなあと思いました。

## 佳作

「マフィンおばさんのぱんや」を  
読んで

小学二年 リー ルーシー

この話は、アデルジャンジャンの町  
にたった一けんしかないパンやさん  
の話です。

パンやさんはマフィンおばさんとい  
う名前で、とってもおいしいパンをつ  
くります。パンやにはアノダッテとい  
う男の子がいて、毎日パンやの手つ  
だいをしていました。

ある夜、アノダッテは、マフィンお  
ばさんみたいにおいしいパンをつくっ  
てみたくなって、一人でパンをつく  
りはじめました。しかし、アノダッ  
テは、あんまりたくさんつくりす  
ぎて、パンをやいたらパンがかまどか  
らあふれ、いえじゅうに広がってし  
まいました。アノダッテとマフィンお  
ばさんがやねうらべやのまどから  
やねにはい出たところで、パンはよ  
うやくふくらむのをやめました。

この話を読んで、私はとってもド  
キドキしました。なぜかというと、  
アノダッテがパンをつくる場所もお  
もしろかったし、パンがどんどん  
どんふくらんで、いえ中に広がって  
いくところもとってもエキサイティン  
グでした。まるでパンが3Dえいがの  
ように、本からとび出してきそう  
な気がしました。とってもびっくり  
する話でしたが、町の人たちもパン  
をよるこんでたべたし、マフィンおば  
さんも前からそういうパンをつくっ  
てみたかったのでゆめがかなってよか  
ったと思いました。

もしマフィンおばさんがもういち  
どそんなパンをつくってみたくなっ  
たらアノダッテに教えてもらうかも  
しれません。

## 佳作

「おいしゃさんなんかこわくない」

小学二年 鈴木 美愛

私も、この本に出て来るくまのぼ  
うやのくまた君みたいに、最初はお  
いしゃさんに、ちゅうしゃされるの  
がこわかったけれど、今では、ぜん  
ぜんこわくありません。今も少し  
は、ちゅうしゃをする時にドキドキ  
するけれど、しんこきゅうをすると、  
安心します。その時、私はいつも、  
「自分のバカーツ！こんなの痛くない  
じゃん！」  
と、小さな声で言って、自分の頭を  
たたきます。

私は、この方法で、安心できる事  
をくまた君に教えたいです。私も、  
くまた君が安心できる方法が知り  
たいです。きっと、それは、おねをか  
るくたたいて、おちつかせるのかも  
しれません。私は、くまた君に、早

く自分の方法を見つけてほしいで  
す。

私は、この本は、何を教えてくれ  
ているのかわかります。きっとそれ  
は、本当は、どうぶつもけがをする  
事と、おいしゃさんはこわくない事  
です。



## 佳作

### 「宮沢賢治の伝記」を読んで

小学六年 松本 峻

ぼくがなぜ「宮沢賢治の伝記」を読んだのか、それは今授業で勉強して宮沢賢治がなぜこのような作品を書いたのかということに興味を持ったからです。

ぼくが今まで読んできた宮沢賢治の作品は、「けん十公園林」「どんぐりと山猫」「やまなし」「注文の多い料理店」です。

ぼくが「宮沢賢治の伝記」で印象に残った場面は、賢治がまずしい人や弱い人のためにつくすという場面です。この宮沢賢治の考えは生き仏のような考えだとぼくは思います。困っている人を見たら助けあげなければいけない。それが仏様のお教えでした。賢治も賢治の父も仏様の教えを信じていたのです。

賢治が幼い頃にやってしまったはずらの瓜どろぼうとその時の反省の気持ち、賢治の家の質屋に来る貧しい人達を助けたという気持ち、妹のトシ子の心をなぐさめたいという思い、このようにいろいろな経験が宮沢賢治の作品につながっていったと思います。

賢治の理想は、農業と芸術と宗教が一つになった美しい世界を作りあげる事でした。残念な事に賢治は若くして亡くなってしまいました。でもぼくは賢治のその作品の中に理想の世界を作りあげたような気がします。特に「けん十公園林」が賢治の求めた世界のような気がします。ぼくは宮沢賢治はこの「けん十公園林」の中で今でも生きていると思います。

この伝記を読んで、もっとも賢治の作品を読んでみたいと思いました。

## 佳作

### 「手紙」を読んで

中学一年 松田 周

「手紙」という本を読み終えて、私は感想が沢山ありすぎてとまどいました。

この本は強盗殺人の罪で捕まった兄が刑務所から弟に手紙を送り続ける話です。

主人公の直貴は自分一人で懸命に生きようとしますが、いつも兄から送られてくる手紙のせいで人生に失敗してしまい、ことごとく挫折してしまいます。

私は今まで殺人などの罪を犯した人は刑務所に入ればその罪は償っているかと思っていました。でもその間残された家族が世間でどういう裁きを受けているか考えた事もありませんでした。どれほど家族が辛い思いをし、どれほど迷惑がかかるか初めて考えさせられました。家族は、殺人犯と血が繋がっているというレッテルを背負って生きていかなければいけません。という事は

一番苦しい思いをするのは罪を犯した本人ではなく、家族なんだと思います。そして殺人犯である自分の苦しみは、自分の受け入れるべき罰だという事です。

直貴は刑務所にいる兄のおかげで差別され続けます。そして新しい人生を歩むため一方的に兄と絶縁します。最終的に兄はそれを知りショックを受けますが、私はこの時初めて兄は本当の意味で自分の罪の重大さに気付いたのだと思います。家族が苦しんだ事実を知らないままでは、自分の罪は一生つぐなえません。

人間はただ一人ではなく、絶対に誰かと繋がっていて、自分の行動は必ず周りに影響を及ぼします。良い行いをすれば周りには尊敬され感謝されますが、悪い行いをすれば周りにはもちろん非難されます。私はこれからも自分勝手に行動せず、大きく周りを見つめて、責任をもって進んでいこうと思います。